

令和5年度入学

岐阜大学工学部
3年次編入学
学生募集要項

● 推薦選抜

● 一般選抜

令和4年3月



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学

目 次

1. アドミッションポリシー（入学者受入方針）	1
2. 募集人員	2
3. 入試の種類及び入試日程	2
4. 出願資格	3
5. 障害等のある者の出願にあたっての事前相談	5
6. 出願手続	6
7. 入試方法	9
8. 合格者発表	12
9. 入学手続	12
10. 授業料	13
11. 検定料返還に関する留意事項	13
12. 大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除	14
13. 個人成績の開示内容及び請求方法等	14
14. 学生募集要項の請求方法	15
15. 入試統計及び過去問題の請求方法	15
16. 個人情報の取扱い	15
17. 岐阜大学工学部案内	16
18. 既修得単位の認定	16
19. その他の注意事項	16
20. 試験場への案内	17

出願書類様式一式

願書は、必ず志願者本人が記入してください。
問い合わせは、原則として志願者本人がするようにしてください。

1. アドミッションポリシー（入学者受入方針）

教育目的

工学部では、社会、自然、文化等に対する深い見識、優れた感性及び健全な心を養います。同時に、専門特化型から幅広い総合型まで、多様な個性に合った能力を育みます。これにより、人間性豊かで創造力に富んだ技術者の育成を目指します。

求める学生像

高等専門学校や短期大学の卒業者などで、より高い専門教育を受けようとする者の学習意欲に応えるとともに、多様な背景を持つ学生の個性に合った進路の選択の機会を与えるために、以下の資質を備えた学生を求めています。

- ① これまでに学んだ専門科目をより深く極めようとする意欲
- ② 先端的工学分野を究めようとする意欲
- ③ 専門教育を受けるに必要な基礎学力
- ④ 自然現象、社会現象などへの知的好奇心
- ⑤ 人間社会に貢献する意欲

入学者選抜の基本方針

<推薦選抜>

面接（口頭試問を含む。推薦書及び志望理由書は参考資料とする。）により意欲や知的好奇心を、成績証明書（調査書を含む。）により基礎学力を評価し、総合的に合否を判定します。配点は、本募集要項を参照ください。

<一般選抜>

学力試験により基礎学力を、面接（口頭試問を含む。成績証明書は参考資料とする。）により意欲や知的好奇心を評価し、総合的に合否を判定します。配点は、本募集要項を参照ください。

学部学科の入試における特色

学力試験と面接を通じて、基礎学力、学習意欲、人物を総合的に評価します。

2. 募集人員

学 科	コース	入学定員	募集人員	
			推薦選抜	一般選抜
社会基盤工学科	環境コース	10	5	5
	防災コース			
機械工学科	機械コース	10	5	5
	知能機械コース			
化学・生命工学科	物質化学コース	2	1	1
	生命化学コース			
電気電子・情報工学科	電気電子コース	8	1	2
	情報コース		2	1
	応用物理コース		1	1
計		30	15	15

3. 入試の種類及び入試日程

入学者選抜試験は、推薦選抜及び一般選抜の2種類の方法で行います。

推薦選抜

試験日	試験内容	試験時間	試験場所
令和4年5月21日(土)	面接	10時00分～	岐阜大学工学部 (18ページ案内図参照)

一般選抜

試験日	試験内容		試験時間	試験場所
令和4年6月18日(土)	学力試験	数学	9時30分～10時20分	岐阜大学工学部 (18ページ案内図参照)
		専門	10時45分～12時05分	
	面接	13時～		

4. 出願資格

推薦選抜

- 令和5年3月に日本の高等専門学校または短期大学の下記表に該当する学科を卒業見込みの者。
- ※下記に該当する学科であるか疑問がある場合は、出願前に岐阜大学工学部学務係に問い合わせてください。問い合わせがない場合は、出願書類を受理できない場合もあります。
- ※下記に該当する学科であっても、必ず本学部 HP 等が出願希望コースの概要をご確認ください。
- ※**成績証明書の得点が配点の80%未満の者は、合否判定基準により合格対象としません。**あらかじめ成績証明書を採点・換算し（本募集要項のP9-10を参照）、**出願資格があることをご確認ください。**
- ※なお、高等学校卒業程度認定試験を経て短期大学を卒業見込みの者は、推薦選抜ではなく、一般選抜で出願してください。

＜推薦基準＞

- ①人物及び学力が優秀であり、在籍学校等の長が責任をもって推薦し、合格した場合には入学することを確約できる者。なお、同一人を他大学と重複して推薦することはできません。
- ②同一高等専門学校若しくは同一短期大学からの推薦者数の上限は、表中の数字のとおりです。

本学部の学科	本学部のコース (推薦者数の上限)	高等専門学校または短期大学での学科例及び 主な学習内容
社会基盤工学科	環境コース (1)	社会基盤工学科、土木工学科、環境都市工学科、都市システム工学科、土木建築工学科など
	防災コース (1)	インフラの整備、維持管理、防災や地球環境、自然環境との共生や保全などを学ぶ社会基盤系の学科・コースであり、具体的には社会基盤工学の基礎（構造力学、土質力学、水理学、土木材料学、土木計画学、環境工学）を修得するカリキュラムを備える学科・コース
機械工学科	機械コース (3)	機械工学科、機械システム工学科、機械電子（電気）工学科、航空工学科、総合システム工学科（関連コース）など 機械工学（材料力学・機械力学・熱力学・流体力学）を修得するカリキュラムを備える学科・コース
	知能機械コース (3)	機械工学科、機械システム工学科、機械電気（電子）工学科、電子制御工学科、ものづくり工学科、産業システム工学科など 機械工学（材料力学・機械力学・熱工学・流体力学）を修得するカリキュラムを備える学科・コース ※プログラミング・制御工学を教育していることが望ましい。
化学・生命工学科	物質化学コース (1)	物質工学科、物質化学工学科、生物応用化学科、応用化学科、物質環境工学科など 化学（物理化学・無機化学・有機化学）を修得するカリキュラムを備える応用化学系の学科・コース
	生命化学コース (1)	物質工学科、物質化学工学科、応用化学科、生命工学科、生物工学科、生物生産技術工学科、生物資源工学科など 化学、生命科学、バイオテクノロジー、創薬科学に関する教育をしている学科・コース

本学部の学科	本学部のコース (推薦者数の上限)	高等専門学校または短期大学での学科例及び 主な学習内容
電気電子・情報 工 学 科	電気電子コース (3)	電気（電子）工学科、電気（電子）情報学科、電子制御工学科、情報通信工学科、情報処理工学科、電気システム工学科、総合システム工学科（関連コース）など 電磁気学、電気回路学、電子回路学を主要科目として習得するカリキュラムを備える学科・コース
	情報コース (2)	情報工学科、電気（電子）工学科、電気（電子）情報学科、制御情報工学科、情報システム工学科、総合システム工学科（関連コース）、メディア情報工学科など コンピュータプログラミング、アルゴリズムを単なるスキルとしてではなく、数学、論理代数などから体系的に学ぶ情報系の学科・コース
	応用物理コース (1)	電気（電子）工学科、電気（電子）情報学科、電子制御工学科、情報通信工学科、システム制御工学科など 電気電子系または情報系の学科・コース

一般選抜

- ①高等専門学校を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- ②短期大学を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- ③専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上であること）を満たす課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者（ただし、学校教育法第90条第1項に規定する大学入学資格を有する者に限る。）
- ④大学を卒業した者及び令和5年3月卒業見込みの者
- ⑤高等学校、中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の専攻科の課程を修了した者及び令和5年3月修了見込みの者（修業年限が2年以上であることその他の文部科学大臣の定める基準を満たし、学校教育法第90条第1項に規定する者に限る。）
- ⑥大学に2年以上（休学期間を除く）在学し、62単位以上を修得した者及び令和5年3月修得見込みの者（令和5年3月をもって2年間在学となる者を含む）
ただし、必要在学期間及び単位数は同一大学在学中においてに限る。
なお、62単位を修得見込みの者が、令和5年3月までに修得できなかった場合は、合格を取り消す。
- ⑦学位授与機構により学士の学位を授与された者及び令和5年3月までに授与される見込みの者
- ⑧外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- ⑨外国の短期大学を卒業した者及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程をわが国において修了した者（学校教育法第90条第1項に規定する者に限る）

※ただし、本学工学部に在籍中の者の出願は認めない。

5. 障害等のある者の出願にあたっての事前相談

本学では、障害等のある志願者が、受験上不利となることのないよう必要な配慮を行っており、そのための相談を次のとおり受け付けています。相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、相談の期限にかかわらず、できるだけ早く相談してください。

なお、事前相談は受験に関して、よりよい方法及び在り方を模索するためのもので、入試結果の判定において不利になることはありません。

また、入学後の修学に関して相談を希望する方は、工学部学務係へ問い合わせてください。

(1) 相談の期限

推薦選抜 令和4年4月22日（金）まで

一般選抜 令和4年5月20日（金）まで

(注) 日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定や他の配慮との関係から受験上の配慮として申請が必要です。

(2) 相談の方法

本学所定の用紙「障害者等受験上の配慮申請書」に医師の診断書及び障害者手帳（写し・該当者のみ）を添付し、工学部学務係に提出してください。

なお、必要な場合には、志願者または関係者との面談等を行うことがあります。

(3) 本学所定の用紙の請求方法

用紙は、岐阜大学のホームページ〈入試案内〉からダウンロードすることができます。

郵便で用紙を請求する場合は、封筒の表に「障害者等受験上の配慮申請書請求」と朱書きし、84円分の切手を貼った返信用封筒（長形3号封筒（縦23.5cm × 横12.0cm））を同封し、以下の〈請求先〉に送付してください。

※同封の返信用封筒には、あなたの住所、郵便番号、氏名（宛名）を明記してください。

返信用封筒は折りたたんで構いません。

〈請求先〉

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学工学部学務係

T E L 058-293-2371 / 2745

(4) 相談の期限後に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、至急問い合わせてください。

6. 出願手続

(1) 出願期間

推薦選抜

令和4年5月6日（金）～5月10日（火）必着

一般選抜

令和4年6月2日（木）～6月6日（月）必着

期限までに到着するように郵送してください。

ただし、期限後に本学部に着したのものについては、各々の期限日前日（推薦選抜は5月9日（月）、一般選抜は6月3日（金））までの消印のある「簡易書留速達」に限り受理しますが、それ以外は受け取りません。

(2) 出願方法等

共通（推薦選抜、一般選抜）

- ① 郵送に限ります（持込み不可）。
- ② この要項に添付してある本学所定の出願用封筒を使用し、出願書類一式を入れ、郵便局の窓口で「簡易書留速達」として郵送してください。
郵便局の窓口で受け取った簡易書留速達の受領書は、出願したことを証明する重要な書類となりますので、大切に保管しておいてください。
- ③ 高等専門学校等から複数の願書をまとめて送る際は、個人ごとに本学所定の出願用封筒に入れ、封をした上で、岐阜大学工学部学務係宛に送ってください。
- ④ 出願書類受付後は、記載内容の変更は認めません。また、一度受理した出願書類及び一旦領収した検定料は原則として返還できません。
- ⑤ 出願書類等提出先

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学工学部学務係
TEL 058-293-2371 / 2745

大規模災害・感染症等により、学力試験の実施方法が変更になる場合があります。
最新の情報は岐阜大学工学部ホームページで確認してください。

(3) 出願書類等

共通（推薦選抜、一般選抜）

出願書類	注 意 事 項
入 学 志 願 票 (電 算 処 理 原 票)	<ul style="list-style-type: none"> • 所定の用紙に、黒のボールペンで必要事項を記入してください。
写 真 票 試 験 場 座 席 番 号 票	<ul style="list-style-type: none"> • 所定の用紙に、黒のボールペンで必要事項を記入してください。 • 写真票に写真1枚（出願3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの縦4 cm ×横3 cmのもの）を貼付してください。
受 験 票 (郵 便 は が き)	<ul style="list-style-type: none"> • 所定の用紙に郵便番号、住所、氏名、志望コースを記入し、切手643円分を貼付してください。（「様」を消したり、「行」に直したりしないでください。）
検 定 料 受 付 証 明 書 * 取扱期限に注意してください。 * A T Mでの振込不可。	<p>検定料 30,000円</p> <p>①所定の「入学検定料払込用紙」に住所、氏名等必要事項を記入の上、金融機関窓口で検定料を振込んでください。振込手数料はご負担願います。</p> <p>②振込んだ際に、金融機関が収納印を押した「受付証明書」と「受領書」を受取り、<u>振り込み証明となる「受付証明書」は、入学志願票に貼り、出願書類として提出してください。「受領書」は本学から「受験票」が届くまでは保管してください。</u></p> <p>注意事項</p> <p>①「電信扱い」が利用できる金融機関をご利用ください。なお、<u>午後は「電信扱い」の取扱いができない金融機関があります。銀行等の取扱期限最終日（振込依頼書に記載）は、振込手続を午前中に済ませられるよう特に注意してください。</u></p> <p>②いったん領収した検定料は原則として返還できませんのでご注意ください。</p> <p>③出身学校において、日本政府（文部科学省）国費留学生として奨学金を受給している者も、検定料を振込んでください。（本学の入学者選抜に合格し、入学することを前提とした奨学金の延長申請をする者は、延長が決定した場合、本学へ入学した後に検定料を返還しますので、決定通知書を添えて工学部学務係へ申し出てください。）</p>
あ て 名 シ ール	<ul style="list-style-type: none"> • 合格通知書等送付用です。 • 所定の用紙（3枚とも）に、合格通知書や入学手続関係書類等を確実に受け取ることができる郵便番号、住所、氏名を記入してください。（「様」を消したり、「行」に直したりしないでください。）
在 留 カード または パ ス ポー ト (写 し)	<ul style="list-style-type: none"> • 現に日本国に居住している外国人留学生は在留カード両面の写し、その他の者は、パスポート（氏名・国籍が確認できるページ）の写しを提出してください。
国 費 (日 本 政 府) 留 学 生 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> • 国費（日本政府）留学生のみ提出してください。 • 出身学校の長等が証明したもの。

* 推薦選抜と一般選抜で提出様式が異なりますので、出願の際はご注意願います。

推薦選抜

出願書類	注 意 事 項
成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> • 在籍学校等の長が作成し、厳封してください。 • 高等専門学校に編入学した外国人留学生は、出身高校の成績証明書に日本語の訳（現在、在学する学校が作成したもの）を添付してください。
卒業（修了）見込証明書 （ 該 当 者 の み ）	<ul style="list-style-type: none"> • 卒業見込等の年月が成績証明書に記載されていれば不要です。
調 査 書 （ 該 当 者 の み ）	<ul style="list-style-type: none"> • 短期大学卒業見込みの者及び高等学校から高等専門学校へ編入学した者については、高等学校の「調査書」を併せて添付してください。
推 薦 書	<ul style="list-style-type: none"> • 所定の用紙により、在籍学校等の長が作成し、厳封してください。（成績証明書と同封可） • 裏面に推薦理由を記入してください。
志 望 理 由 書	<ul style="list-style-type: none"> • 所定の用紙に、自筆で300字程度にまとめてください。

一般選抜

出願書類	注 意 事 項
成 績 証 明 書	<ul style="list-style-type: none"> • 在籍学校等の長が作成し、厳封してください。 • 「推薦選抜」で不合格となった者で「一般選抜」に出願を希望する者も、再度成績証明書を提出してください。 <p>※推薦選抜の合格者発表の直後に出願期間となりますので、注意してください。</p>
卒業（見込）証明書 修了（見込）証明書 （ 該 当 者 の み ）	<ul style="list-style-type: none"> • 卒業または卒業見込等の年月が成績証明書に記載されていれば不要です。
在 学（ 期 間 ） 証 明 書 （ 該 当 者 の み ）	<ul style="list-style-type: none"> • 出願資格⑥に該当する者については、在籍大学所定の用紙（休学期間のある場合はその期間も分かるもの）で提出してください。
履 歴 書 （ 該 当 者 の み ）	<ul style="list-style-type: none"> • 出願資格⑧、⑨に該当する者については、所定の用紙により提出してください。（出願書類様式一式参照）
TOEIC Listening & Reading Test の 公 式 認 定 証 (TOEIC-IPのスコアレポート) また は TOEFL iBT の 受 験 者 控 え ス コ ア レ ポ ー ト (原 本)	<ul style="list-style-type: none"> • 2020年4月以降に受験した TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC-IP を含む) または TOEFL iBT のいずれかの原本を提出してください。 <p>※原本は原則として返却しませんが、返却を希望する場合は、その旨メモを付してください。試験当日に返却しますので、試験場本部にきてください。試験を欠席した者は、別途返信用封筒（郵便番号、住所、氏名を記入し、切手を貼付）を工学部学務係へ送付してください。</p>

7. 入試方法

共通注意事項

- ・ 試験実施場所等については、試験当日、工学部正面玄関に掲示します。
- ・ 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
- ・ 集合時刻は、試験開始20分前です。物質化学コース、生命化学コースの一般選抜の受験者は、専門科目の試験開始20分前に集合してください。
- ・ 試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。

推薦選抜

面接（口頭試問を含む。推薦書及び志望理由書は参考資料とする。）により意欲や知的好奇心を、成績証明書（調査書を含む。）により基礎学力を評価し、総合的に合否を判定します。

(1) 試験日時等

試験日	試験内容	試験時間	試験会場
令和4年5月21日(土)	面接	10時00分～	工学部正面玄関にて掲示

(2) 配点及び合否判定基準

①配点

	面接	成績証明書	合計
配点	150	100	250

②合否判定基準

合格者の決定に当たっては、学科ごと（電気電子・情報工学科はコースごと）に総得点の上位の者から決定します。また、同点者については、面接の得点の高い者を上位とします。

なお、次のいずれかに該当する者は合格対象としません。

面接の得点が配点の60%未満の者

成績証明書の得点が配点の80%未満の者

【成績証明書の換算方法】

採点の対象は原則4年間分の成績とする。

- ・ 高等専門学校卒業見込みの者：第1～4年次の成績
- ・ 短期大学卒業見込みの者：高等学校3年間の成績と、短期大学1年次の成績

換算式

$$\frac{(\text{優の科目数} \times 5) + (\text{良の科目数} \times 3) + (\text{可の科目数} \times 1)}{\text{総科目数}} \times 20$$

※評価が「合格」や「認定」となっている科目は科目数に加えない。

※小数第1位を四捨五入して、整数とした数値を得点とする。

各種成績評価の換算表

点数	各種成績評価					
	5点	優	5	A+ (100～90) A (89～80)	A (100～80)	A+ A A-
3点	良	4 3	B (79～70)	B (79～70)	B+ B	
1点	可	2 1	C (69～60) D (59～50)	C (69～60)	C+ C D E	

一般選抜

学力試験により基礎学力を、面接（口頭試問を含む。成績証明書は参考資料とする。）により意欲や知的好奇心を評価し、総合的に合否を判定します。

(1) 試験日時等

試験日	試験内容	試験時間	試験会場
令和4年6月18日(土)	学力試験	下記(2)のとおり	工学部正面玄関にて掲示
	面接	13時～	

(2) 学力試験時間及び学力試験科目

学 科	コース	共 通 科 目	専 門 科 目 (10時45分～12時05分)	
		9時30分～ 10時20分	出 題 内 容	持込み物品
社会基盤 工 学 科	環境コース	数学	社会基盤工学（構造力学、土木材料学、土質力学、水理学、土木計画学、環境衛生工学）の基礎的事項について問う	関数電卓
	防災コース			
機械工学科	機械コース	数学	機械工学（材料力学、機械加工、機械力学、流体力学、熱力学、制御工学）の基礎的事項について問う	関数電卓
	知能機械 コ ー ス			

化学・生命 工 学 科	物 質 化 学 コ ー ス		物理化学、有機化学の基礎的事項に ついて問う	関数電卓
	生 命 化 学 コ ー ス			
電 気 電 子 ・ 情 報 工 学 科	電 気 電 子 コ ー ス	数 学	電磁気学、電気回路、電子回路の基 礎的事項について問う	
	情 報 コ ー ス		情報数学（離散数学、確率統計）、 情報工学（計算機工学、プログラミ ング）の基礎的事項について問う	
	応 用 物 理 コ ー ス		数学（微積分学、線形代数、常微分 方程式）、物理（力学、電磁気学）	

注意事項

- ① 共通科目「数学」の出題範囲は、「微積分学、線形代数」です。
- ② 社会基盤工学科、機械工学科及び化学・生命工学科の専門科目については、関数電卓（プログラム機能のないもの）を持参してください。それ以外の機能がついた電子機器等は使用できません。
- ③ 試験時間中、机の上に置けるものは、「受験票、黒鉛筆、鉛筆キャップ、シャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り、時計（時計機能のみ）、メガネ、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋から取り出したもの）、目薬、関数電卓（プログラム機能のないもの。社会基盤工学科、機械工学科及び化学・生命工学科の受験者のみ）」です。
- ④ 学力試験時間中の途中退室は認めません（用便、急病除く）。

(3) 配点及び合否判定基準

①配点

学 科	コ ー ス	学 力 試 験			面 接	合 計
		数 学	英 語	専 門		
社 会 基 盤 工 学 科	環 境 コ ー ス	100	100	200	200	600
	防 災 コ ー ス					
機 械 工 学 科	機 械 コ ー ス	100	100	200	200	600
	知能機械コース					
化 学 ・ 生 命 工 学 科	物 質 化 学 コ ー ス	—	100	300	200	600
	生 命 化 学 コ ー ス					
電 気 電 子 ・ 情 報 工 学 科	電 気 電 子 コ ー ス	100	100	200	100	500
	情 報 コ ー ス	100	100	200	200	600
	応 用 物 理 コ ー ス	100	100	200	200	600

※英語については、筆記試験を実施せず、英語能力テスト TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC-IP を含む) または TOEFL iBT のスコアで評価します。
スコアの換算方法は、以下のとおりとします。

TOEIC Listening & Reading Test (TOEIC-IP を含む)

730点以上を100点として比例配点 (TOEIC ÷ 7.3)

TOEFL iBT

80点以上を100点として比例配点 (TOEFL iBT ÷ 0.8)

②合否判定基準

合格者の決定に当たっては、学科ごと（電気電子・情報工学科はコースごと）に総得点の上位の者から決定します。また、同点者については、学力試験の得点の高い者、次に専門科目の得点の高い者を上位とします。

なお、次のいずれかに該当する者は合格対象としません。

面接の得点が配点の60%未満の者

総得点が合計点の50%未満の者

学力試験または面接試験のうち1科目でも欠席した者

8. 合格者発表

推薦選抜

令和4年6月1日（水） 12時

一般選抜

令和4年7月1日（金） 12時

共通（推薦選抜、一般選抜）

- ①合格者には、同日に合格通知書を郵便発送します。
- ②電話での結果の問い合わせには一切応じません。
- ③岐阜大学ホームページ (<https://www.gifu-u.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載します。掲載期間は、合格者発表日から1週間です。
- ④推薦選抜においては、推薦学校等の長へ、合否の結果を文書で通知します。

9. 入学手続

(1) 入学確約書または入学意向調査書の提出について

推薦入試の合格者は、令和4年6月17日（金）までに「入学確約書」を工学部学務係へ提出してください。

一般入試の合格者は、令和4年8月5日（金）までに「入学意向調査書」を工学部学部係へ提出してください。

(2) 工学部からのお知らせについて

合格者には令和4年10月に工学部便覧及び履修等に関する案内文を送付します。

(3) 入学手続等関係書類の送付について

合格者には、令和5年2月初旬に「入学手続案内」を送付します。

入学手続は、令和5年2月中旬を予定しています。

(4) 入学手続時に要する経費について

入 学 料 282,000円（予定額）

学生教育研究災害傷害保険料 2,430円（付帯賠償含む）

- ・詳細については、「入学手続案内」をご一読ください。
- ・入学料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用されます。

(5) 入学辞退について

入学手続を所定の期日までに行わない者は、本学への入学の意思がなく入学を辞退したものとみなします。

(6) 合格の取り消しについて

一般選抜における出願資格⑥で出願した者で、所定の単位を修得見込みの者が、令和5年3月までに62単位以上を修得できなかった場合は、合格を取り消します。

10. 授業料

(1) 授業料について

授業料（前期分） 267,900円（年額535,800円）

- ・前期分の授業料は5月に口座振替にて納入してください。
- ・詳細については、「入学手続案内」をご一読ください。
- ・授業料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用されます。

11. 検定料返還に関する留意事項

(1) 次の場合を除き、一旦領収した検定料は原則として返還しません。

- 出願書類が受理されなかった場合
- 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- 検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合

(2) 返還請求の方法

次の①～⑥を明記した検定料返還請求書を任意様式で作成し、「振替払込請求書兼受領証」の原本を添付して、岐阜大学工学部学務係（〒501-1193 岐阜市柳戸1番1）まで郵送してください。（封筒には「検定料返還請求書 在中」と朱書きしてください。）

なお、返還請求は出願期間終了後から試験実施月の末日までをお願いします。

- 返還請求の理由
- 志願者氏名（フリガナ）、押印
- 現住所
- 連絡先電話番号
- 志望コース名等
- 検定料の返還を受け取る銀行名、支店名、預貯金種別、口座番号、口座名義（フリガナ）

※返還金の振込みには、請求書類到着後1ヶ月程度を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

12. 大規模自然災害により被災した入学志願者の検定料免除

岐阜大学では、大規模自然災害により被災した入学志願者に対して、検定料免除の特別措置を行います。該当者は予め所定の期日までに所定の書類を提出してください。

詳細は岐阜大学ホームページ (<https://www.gifu-u.ac.jp/>) を参照してください。

13. 個人成績の開示内容及び請求方法等

開示内容

推薦選抜は面接のみのため、本人の得点及び合格者の試験成績は開示しません。

一般選抜は受験者本人からの請求に基づき、本人の得点（合否判定に使用した総得点）を開示します。また、受験した募集単位の合格者の試験成績（最高点、平均点、最低点）を併せて開示します。なお、募集単位の合格者が4人以下の場合は公表しません。また、合格者が10人以下の場合は、最低点を公表しません。

開示の請求方法

請求できる者 受験者本人に限ります。

請求方法 請求先（入試課）の窓口を持ち込むか郵送してください。

請求期間 令和5年5月1日（月）から5月31日（水）（消印有効）
窓口受付は、土曜・日曜及び祝日を除く9時から17時まで
（請求用紙の配付も5月1日以降とします。）

請求先 〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学学務部入試課

必要書類

- ・岐阜大学入試情報開示請求書※
- ・岐阜大学受験票（コピー不可、開示の際にお返しします。）
- ・返信用封筒（開示通知書送付用）
長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm）に、本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、414円分の切手（簡易書留料金）を貼付してください。

※開示請求書用紙の入手方法

- ・次のいずれかの方法で入手できます（請求期間中のみ入手可）。
 - ①岐阜大学のホームページ (<http://www.gifu-u.ac.jp>) からプリントアウトする。
 - ②入試課の窓口で受け取る（9時から17時まで）。
 - ③郵便で請求する。
返信用封筒（長形3号封筒に84円切手貼付）を「請求先」あてに送ってください。

開示方法 本人に開示決定通知書を郵送します。
請求受付後、開示までに約1か月を要しますので、あらかじめご了承ください。

14. 学生募集要項の請求方法

学生募集要項は、本人の住所・氏名・連絡先を明記し、250円分の切手を貼った角形2号（縦33cm、横24cm）の返信用封筒を同封して請求してください。

送付する封筒の表面に、「工学部 3年次編入学生募集要項請求」と朱書きし、岐阜大学工学部学務係までお送りください。

請求先 〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学工学部学務係

15. 入試統計及び過去問題の請求方法

岐阜大学工学部のホームページをご覧ください。

- 岐阜大学HP > 学部・大学院 > 工学部 > 工学部オリジナルサイトへ >
岐阜大学工学部HP > 入学・進学希望の方へ > 入試情報（学部）

16. 個人情報の取扱い

提出された入学志願票等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、入試情報処理システムに登録されますが、本学は、入学志願票等及び登録された個人情報を責任をもって管理・保管します。入学試験業務終了後は、この個人情報を次のいずれかに該当する場合を除いて利用することはない、また、第三者に開示することはありません。なお、第三者とは、本学入試業務担当者のうち個人情報に接する必要がある者以外の者です。

- (1) 合格者について、入学手続きに必要なデータを使用する場合
- (2) 入学者について、学生証の作成、カリキュラム登録、成績管理等、本人が大学生活をする上で必要な事務にデータを使用する場合
- (3) 入学者選抜に係る統計・調査・分析のために使用する場合。ただし、この統計・調査・分析に従事する者は特定の者とし、公表する場合、個人識別ができない状態で行います。
- (4) 本人の同意が得られた場合
- (5) 法令等により開示が求められた場合

17. 岐阜大学工学部案内

工学部の起源は、昭和17年岐阜県立高等工業学校創設に始まり、その後変遷を経て、昭和25年岐阜県立大学工学部となり、昭和27年国立に移管され、岐阜大学工学部となりました。

平成14年4月には、旧6学科（土木工学科、機械システム工学科、応用精密化学科、生命工学科、電気電子工学科、応用情報学科）を改編・新設し、社会基盤工学科、機械システム工学科、応用化学科、電気電子工学科、生命工学科、応用情報学科、機能材料工学科、人間情報システム工学科、数理デザイン工学科の9学科体制となりました。

更に平成25年4月に改編し、社会基盤工学科（環境コース・防災コース）、機械工学科（機械コース・知能機械コース）、化学・生命工学科（物質化学コース・生命化学コース）、電気電子・情報工学科（電気電子コース・情報コース・応用物理コース）の4学科・9コース体制となりました。

〈大学院について〉

学部卒業後は、大学院に進む道もあります。平成29年4月に工学研究科と応用生物科学研究科等を再編整備して、自然科学技術研究科（修士課程）を設置しました。“自然科学”と“科学技術”の連携により、「生命科学」、「環境科学」、「ものづくり」分野の観点から工学系および応用生物科学系の専門性（自然科学系）を持った高度理工系人材の育成を目指しています。

学科の案内については、本学工学部のホームページ（<http://www.eng.gifu-u.ac.jp/>）をご覧ください。

18. 既修得単位の認定

卒業に必要な単位数は132単位です。3年次編入学生に対しては、2年次後学期までに開講されている教養科目、基礎科目、学科共通科目及びコース科目の単位を、おおむね認定する予定です。ただし、科目によっては認定されないものもあるため、個人によっては2年次開講科目を履修する必要がある場合があります。合格者には10月に送付する資料で概略をお知らせし、詳しくは入学ガイダンス（4月上旬）で説明します。

19. その他の注意事項

- ①編入学後の転部、転科、転コースはできません。
- ②応用物理コースを除くコースでは、高等学校教諭一種免許状[工業]の申請に必要な単位を修得することができますが、2年間で揃えることは、困難です。
- ③応用物理コースでは、高等学校教諭一種免許状[数学]の申請に必要な単位を修得することができますが、2年間で揃えることは、困難です。

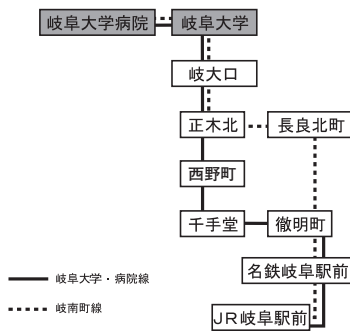
20. 試験場への案内

(1) 公共交通機関

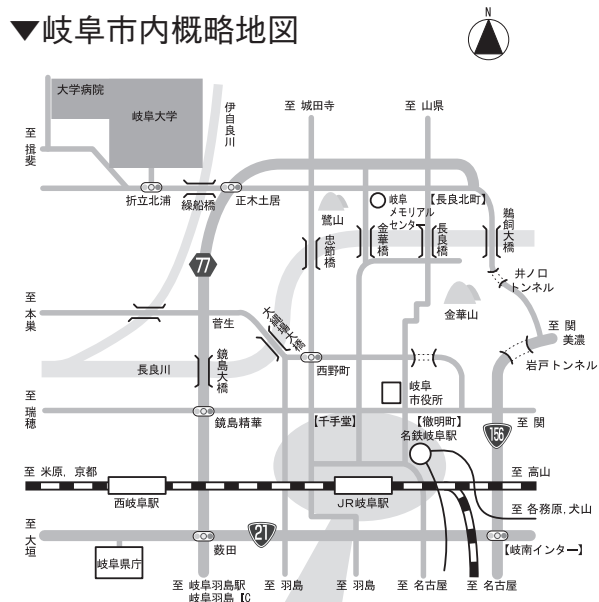
試験場	バスのりば	「路線名」及び行先	降車するバス停
岐阜大学工学部	J R岐阜駅 バスターミナル⑨番 または 名鉄岐阜駅前⑤番 のりば	「岐阜大学・病院線」 岐阜大学病院行き (西野町経由)	岐阜大学
	J R岐阜駅 バスターミナル⑨番 または 名鉄岐阜駅前④番 のりば	「岐南町線」 岐阜大学病院行き (長良北町経由)	岐阜大学

1. 所要時間は通常約30～40分ですが、市内の交通事情により大幅に上回ることがあるので注意してください。
2. 詳細は岐阜バスのホームページをご確認ください。

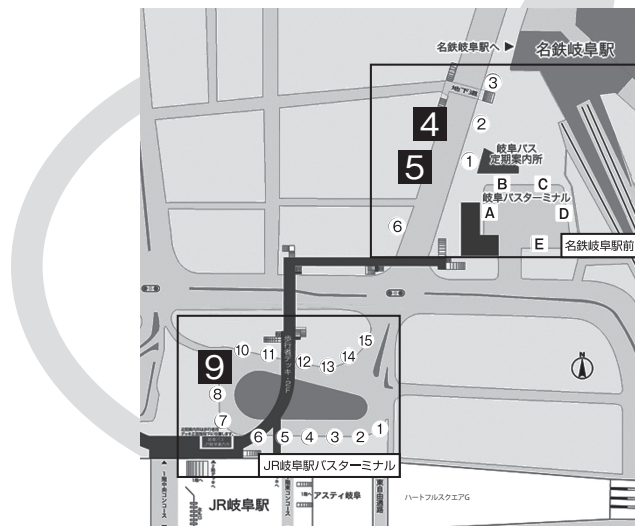
▼バス路線図(略図)



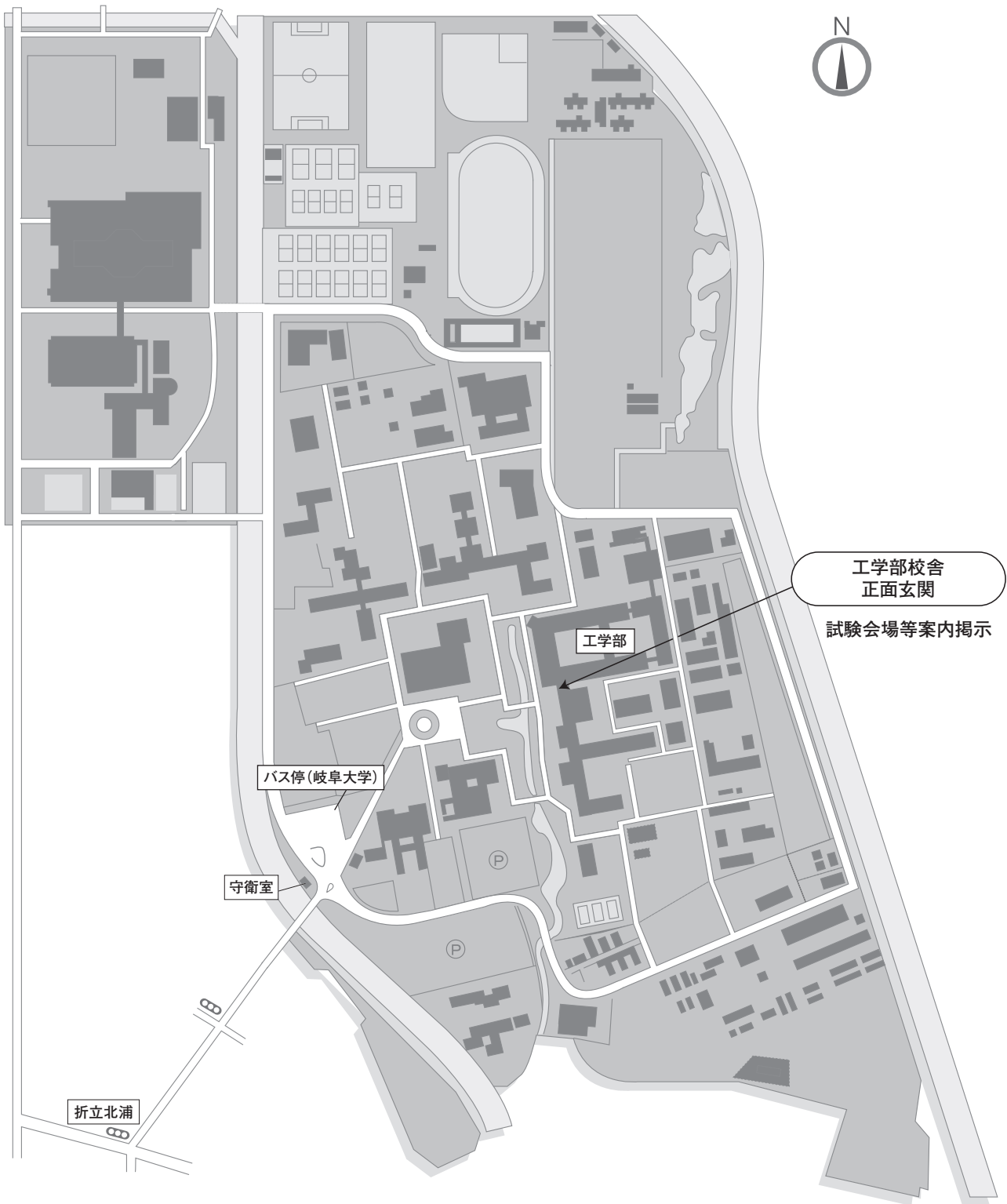
▼岐阜市内概略地図



▼JR岐阜駅前・名鉄岐阜駅前周辺バスのりば



(2) 岐阜大学構内案内図



岐阜大学工学部学務係

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
T E L 058-293-2371/2745
F A X 058-293-2379